

DX推進による

“働きやすい職場づくり”取組事例 **02**

レプタイル株式会社

企業情報

所在地：津山市田町23
従業員：15名(男性4名 女性11名)
HP：https://www.reptiles.co.jp/



- おかやま子育て応援宣言企業(2021)
- 健康経営優良法人(2024~)



代表取締役
丸尾 宜史

【会社独自の“働きやすい職場づくり”取組制度一覧】

- 家族人数分休暇（有給）
- 働き方・長期休暇制度に関するアンケート
- バースデー休暇（有給）
- 社内報や全社会議による休暇制度などの啓発

“数値で見る”働きやすい職場環境

- 年次有給休暇取得率 **69%**
- 介護休業の取得可能期間 通算 **93日**
- 女性管理職の割合 **66.6%**
- 男性の育児休業取得率 **100%**
- 社員全体のテレワーク制度利用可能率 **80%**

DXの取組を始めたきっかけ

創業4年目を迎えた2017年頃、スタッフが増えていく中で「組織としての基盤づくり」の必要性を強く感じたことがきっかけです。現在の業務を円滑に進めることはもちろん、新しく入社したスタッフが、業務に必要な情報や知識へ迷わずアクセスできる環境を整えたいと考えました。それまでは個々で管理されがちだった情報を整理し、体系的に蓄積・集約することで、業務を「属人化させない」「滞らせない」仕組みづくりを目指しました。この「情報の整理と共有」を徹底させたことが、結果として組織の成長を支える土台となっています。

- 情報の検索時間 **50%削減**
- 情報共有がDXツール内で完結している割合 **90%**



DXの取組内容

- 対象業務**
社内情報共有および業務管理全般
- 導入ツール**
●kintone
●サイボウズ Office
- 業務課題**
事業拡大(スタッフの増員)を見据える中で、情報の属人化や共有の遅れを改善する必要がありました。

【社内情報を一元管理し、誰もが働きやすい職場へ】

「kintone」と「サイボウズ Office」を併用し、社内情報と業務管理を一元化しました。これにより、全スタッフがリアルタイムで状況を把握できる環境を整えました。スケジュール機能を含め、メンバー間の調整が効率化できたことは、大幅な時間短縮を実現しています。

また「時間外勤務」や「休暇申請」のアプリを作成し、残業については、kintone上で申請を行い、上長の許可を得たもののみを認める運用としたことで、組織全体の残業時間の抑制にもつながりました。有給休暇の残日数が自動で反映される仕組みや、アプリ間を連携させるなど、より使いやすくする工夫をしています。さらに、業務マニュアルをkintone内に蓄積できたことも大きな成果です。必要な時にすぐ確認できる仕組みが、業務の質の向上に寄与しています。

DX取組ポイント

- 社内情報の一元管理と可視化
- 残業・休暇の承認システム運用(アプリ)
- 業務マニュアルの蓄積による属人化防止
- スケジュール調整の効率化

DXの取組による成果

働き方の変化

業務内容や進捗が可視化され、育休取得に伴う不安や負担が軽減されました。

業務内容や進捗状況がkintoneに蓄積・可視化されたため、休暇取得に伴う心理的な不安や実務的な負担が大きく軽減されました。長期休暇前後の引き継ぎや調整が最小限で済むようになったことで、育児休業からの復帰率は100%を達成し、管理職のポジションを維持したままの復帰も可能となりました。「戻ったときに状況がすぐわかる」という環境が復帰時のハードルを下げ、スタッフの定着や、勤続年数の向上につながっています。

現場の声・意識の変化

- 働きやすさと女性の活躍を採用活動でアピールできる
- 長期にわたる育休への不安が払拭された

“数値でみる”取組の成果

- 男女の育児休業取得率 **100%**
- 1ヶ月の勤怠管理時間 **40時間 ▶ 8時間**

DXの取組を進める中での苦勞と今後の課題について

●最初にぶつかった壁

全スタッフが利用するシステムとして、アクセス権限やセキュリティポリシーを厳格に設計・運用する必要がありました。また導入初期には、活用にあたっての個人差があったため、社内勉強会などを実施しました。

●今後のDXにおける課題

育児休業取得率100%の達成はできたものの、短時間勤務やリモートワークといった多様な働き方を、無理なく定着させていくことが課題です。システム全体を、より現状に則して柔軟に更新し続けていく必要性を感じています。